



市長からの手紙

拝啓 梅雨入りを前に緑の香りが深まる今日このごろ、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

6月は環境月間、6月5日は環境の日（世界環境デー）ですが、ここに至るまでの経緯をご存知ですか。6月5日を世界環境デーと定めることについては、1972年（昭和47年）12月15日、日本とセネガルの共同提案により国連総会で制定されたという経緯があります。このことから日本では環境基本法によって、1993年（平成5年）に6月5日を環境の日と定めているほか、環境庁（現 環境省）の提唱により6月を環境月間としています。下段の記事をお読みいただき、できるところから日々の生活に取り入れていただけたら嬉しく思います。また、本市では、温室効果ガスの排出抑制と雨水の有効活用や河川への流出抑制を図るため、環境に配慮した創エネ・省エネ設備の普及促進を目的とした「創エネ・省エネ設備設置費補助金制度」がございます。ぜひご活用いただきたいと思ひます。

さて、先月の手紙でも少しお伝えした彩夏祭ですが、8月1日(金)～3日(日)で開催することに伴い、6月2日(月)から彩夏祭グッズの販売が始まります。今年の彩夏祭ポロシャツはさわやかなライムとベーシックなブラックの2種類です。このほか、Tシャツは、明るく夏らしさを感じるイエロー、そして熱中症対策として冷感タオルも販売します。詳細は2ページをご覧ください。ぜひ多くの方にご購入いただき、彩夏祭の機運を一緒に盛り上げていただければと思ひます。有料花火観覧席の申し込みは広報あさか7月号でお知らせしますので、今しばらくお待ちください。

梅雨寒の日もめぐってまいります。皆さま、くれぐれも風邪など召されませんようご自愛ください。また、来月お便りします。 敬具

朝霞市長 松下 昌代



6月は環境月間

身近なことからエコな行動をしよう

☎環境推進課 ☎463-1512



6月5日は「環境の日」、6月は「環境月間」です。この機会に環境について考えてみたり、私たち一人ひとりができる身近な行動に取り組んでみましょう。

自然との共生

- 自宅や事業所などに、太陽光発電システム、燃料電池、蓄電池システムなど、再生可能エネルギー設備の導入を検討しましょう。
- 川をきれいにするため、家庭からの排水を減らす工夫・きれいにする工夫をしましょう。
(例) ・お風呂の残り水を洗濯に再利用する。
・河川や水路、側溝に塗料や油、汚れた水は絶対に流さない。

ライフスタイル

- 買い物をするときは、エコバックを利用しましょう。
- 犬のお散歩マナーを守りましょう。
- 食品ロス削減のため、お店で手前にある販売期限の迫った食品を購入する「てまえどり」をしましょう。
- 出かけるときは、自動車に乗らずに、徒歩・自転車・電車・バスを利用しましょう。



環境省ホームページ

創エネ・省エネ設備設置補助制度をご活用ください

- 住宅用太陽光発電システム ●定置用リチウムイオン蓄電池 ●家庭用燃料電池
- 雨水貯留槽 ●HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム） ●V2H（ビークル・トゥ・ホーム）

※対象となる条件等、詳しくは市ホームページをご確認いただくか、お問い合わせください。



市ホームページ

ひとの推移

人 □ 146,372人 (+388人) 男 73,537人 (+66人) 女 72,835人 (+322人)
世帯数 71,819世帯 (+393世帯) 令和7年5月1日現在 () 内は前月比